

OSAKA

わかやま

議会だより

タブレット使って
会議を開催

2021.6 No.151

発行／河南町議会
編集／広報特別委員会

令和3年3月定例会議
令和3年3月臨時会議

令和3年度当初予算 P 2～5
審議結果など P10・11
これが聞きたいねん一般質問 P12～19
など

令和3年度当初予算



施政運営方針要旨



町では、昭和54年に最上位計画として4次にわたって総合計画を策定し、まちづくりを進めてきました。

令和3年度から始まる新しいまちづくり計画は、これまでの成果を踏まえつつ「来てよし、住んでよしの『あ・な・ば』かなん」をキャッチフレーズに、発展的に策定したもので、令和3年度から令和7年度までの5年間の計画としました。

この新しいまちづくり計画を実現するため編成した、令和3年度予算編成であります。政策、施策の体系に基づき、その概要は、

1. 安全・安心に住めるまち
2. 子育てと教育のまち
3. みんなが生涯活躍できるまち
4. 快適で賑わいのあるまち
5. 自然と歴史に囲まれたまち
6. 一歩先を行くまち

の6つです。

問 土地改良整備が駄目になる

答 現在、自園調理で直接雇用しているが、人件費の形態が変わり、その費用がほぼイコールになった点、また、安定的な調理運営を目指し、委託に切り替えた。現雇者の雇用の配慮も考えたい。

問 中村こども園の給食調理の事業を委託する理由とメリットは。また、現在の雇者に対する配慮は。

答 国土強靱化5か年の部分は、直接この起債としては活用していない。
問 地方債は、国土強靱化計画の5か年延長を考慮したものなのか。

答 国土強靱化5か年の部分は、直接この起債としては活用していない。

歳入

歳入・歳出総額

本年度予算額 59億174万円

（前年度予算比）増 3億7391万円

事はないのか。

答 今回は、対象区域の同意を得て、合意形成を図って進めている。

問 町の住民が、他市町村にふるさと納税をされた額と、町にふるさと納税された金額の比較はどうか。

答 令和元年のデータで、町外にふるさと納税された額は、431人、3575万円、町がふるさと納税を受けた額は、261件で、1115万円になる。

問 老人医療費の制度が変わった内容は。

答 65歳以上の医療費を福祉医療で対応していたものを障がい者の医療に移行した。



総括質疑

問 男女共同参画で、女性の能力の積極的な活用というのが、上から目線で女性に頑張らせるのではなく、男性の積極的な家庭での活用が肝だと思つが。

答 女性だけをどう見ていると書いていっているのではなく、男性女性とも人材登用は能力に応じて行うという意味。

問 この10年間、教育関係に相当重点を置いた施策を行つてこられたが、限られた予算内で今年度、重点的に取り組む視点は。

答 小さくコンパクトな行政を目標しないといけない。今、施設の再編統合を進めている。その他、コロナもだが、防災・減災を柱に予算を組んでいる。

問 ふるさと納税の新たなプラン作りで、ふるさと納税をされた人の意思が反映した使い道は。

答 皆さんのふるさと納税がこういう形になりましたというのは、すごく親近感がわくということがあり、検討する。

問 自然災害に対しての備えで、

最近よく報道されているシャワールームだが、町長室にあるのか。

答 町長室にシャワールームはある。今まで使ったことはないのだが、そういう状況になれば使用する。

問 学校給食費半額助成の実施は、コロナ対策か。それとも町長の公約の実現の第一歩か。

答 本質的には、公約を進める第一歩だと考えている。

問 RPA(ロボット)による業務自動化の導入は、職員の人件費の削減や人員の削減を考えているのか。

答 実際問題として、職員の負担の軽減を図るところで、人員の削減まで計画をもつていくつもりはない。

問 いちご農家や関電の子会社など、新たなチャレンジをするところに対して、企業誘致を応援するという考えは。

答 農業でも個人経営から企業経営への流れはあるが、全てが企業ではなく、農業参入について積極的に関与していきたい。

問 社会福祉協議会にかなりの委託料を払っているが、今の状

況で満足しているのか。改革が必要だと考えているのか。

答 福祉における皆さんの事業メニューを、町と一体的に行っているが、今後、自立して活動してもらうことも必要になってくると思う。

問 日本遺産に認定されても、駐車場もトイレもない。今後の考えは。

答 日本遺産などの観光資源は、まず道標の設置を進め、その後は今後の課題だと考えている。

問 さらなる発展という観点から、優先事項は、どう考えているのか。

答 子育て教育が一番重要だと考えている。優劣はないが、道路問題、防災問題も重要と考えている。

問 消防・救急体制の向上を図るため、近隣市町村との連携を深めたいとあるが、どういう考えか。

答 柏原羽曳野藤井寺消防組合、河内長野消防本部、富田林消防本部の3消防本部内の市町村で、広域化を検討していく。

歳出

●人件費

※次項の各目的別歳出に含まれる。

14億3957万円
前年度予算比

増5640万円

問 職員の採用で、ロスジェネ世代(就職氷河期世代)を採用する動きが自治体で出ていたが、町では、そのような採用の考えは。

答 確かにそういう動きは把握していて、令和2年7月に建築士を1人採用した。

問 職員の数が少な過ぎる。正規職員を減らした分、不安定な身分の会計年度任用職員で対応しているが、このような体制は見直すべきと思うがどうか。

答 平成18年度の集中改革プランで一定職員数の制限目標を立て、この人数にするというような計画のもと、その計画の職員数をベースに今も正規職員数は把握している。職員数を増やせないかとのことに関しては、年



金支給年齢が60歳から65歳に引き上げられたことに伴い、町職員の再任用制度で、年金が支給されるまで、町で採用を継続している。60歳の定年を迎えても年金支給開始年齢まで、町で再任用として活躍してもらい、体制の見直しというより経験豊富な職員に活躍してもらうことを考えている。

問 職員全体の健康管理および「休む時には休む」というコントロールをする業務体系にすべきでは。

答 職員の健康管理は、当然必要になってくる。残業が長くなると出勤簿のシステムで、誰が何時にきて、何時に帰っているか全て人事の担当課で分かる。長期に働いている職員については、産業医の面談を設定して状況をフォローしている。

(※次頁へ続く。)

《目的別歳出》※主な内容。

議会費

前年度予算比
9934万円
減1459万円



▲議場

問 議員定数2人削減の財源分は、新型コロナウイルス感染症対策基金に積立ることになるが、これからもずっと積み立てることになるのか。

答 コロナが終息したら、どこかのタイミングでこの基金はなくなるかと考えている。今回は、今任期の影響額として5000万円を積立て、コロナの為に活用する。そこまでの仕組みと考えている。

総務費

前年度予算比
9億1637万円
増1億2649万円



問 3世代同居・近居支援助成金750万円について新たな人口増につながるような効果があったのか、効果の分析と今までの実績はどうなのか。

答 事業の年度別実績として、平成28年度住宅取得、リフォーム合計10件、交付額812万円、29年度28件、2064万3千円、30年度24件、1788万3千円、令和2年度まだ途中であるが20件、1279万4千円、Uターン、転入者数は平成28年度から

令和2年度までは212人、62世帯である。

問 施設解体撤去工事に関し、安全性はどのように担保されるのか。

答 労働基準局などで、もし事故とかあれば対応される。安全ミーティングなど、事故が起らないように毎日ミーティングをするよう指導している。



▲旧中央公民館図書室

問 公共施設の解体料が公共施設整備基金から出されておらず、一般財源から出されていることを踏まえ、4億2千万円の公共施設整備基金はどのようところに使うのか。

答 公共施設の整備で、住民サービスの向上というような視点

で、改修に取り組む際に充当することが基本と考えている。物を解体する、無くすというところに、この基金を充当するものではないと考えている。

民生費

前年度予算比
23億5120万円
増1億3156万円

問 子ども医療費助成制度がU-22まで引き上がったが、対象人員と実績は予算どおりか。今後の見通しは。

答 直近の対象者数は19歳から22歳で765人。医療費申請者数は月約40件で、金額的には予算内に収まっている。

問 家具転倒防止器具の設置補助金、前年度より減額されているが減額理由は。

答 まだまだ設置しなければならぬ世帯数が多いが、実績が少ないこともあり減額となった。

問 国による3歳以上の幼児教育・保育の無償化がスタートしたことにより、今残っているのは0歳から2歳の第1子のみで

あるが、何人が対象になっているか。

答 67人を見込んでいる。

衛生費

前年度予算比
4億8317万円
増342万円



▲近大病院入口附近(大阪狭山市)

問 二次小児救急の医療機関である医療体制について、重篤な人は、近大病院に救急搬送してもらえらると思うが、近大病院が遠くなることの影響は。

答 堺市に移った後も、受け入れ体制については、これまでどおり受け入れてもらうというところで、第三次救急として受け入

れてもらえる。

問 集団健診の項目に関し、自治体によっては希望者に対し、老人性難聴の検診が受けられるところが増加しており、町も検討してもらえるのか。

答 聴覚も含め、住民の必要とする検診項目が増やせるかどうか研究する。

問 小児救急、休日診療関係について、府に負担金の復活要望する必要があるかどうか。

答 小児救急事業については、しっかりと守っていくことを協議しており、国と府に向けて要望することを町村長会の中でも要望する。

●農林水産 業費など

1億2874万円
前年度予算比
増2560万円

問 道の駅かなん前の土地は、駐車場になっているが、町の大切な土地であり有効活用する計画はあるのか。

答 補助事業を見ながらどのような活用が良いのか、現在検討



▲道の駅かなん東側の土地

を進めている。

問 有害鳥獣の捕獲の助成金146万4千円の内訳は。

答 大阪府猟友会富田林支部に50万円、河南町鳥獣被害対策協議会に96万4千円である。

問 中村公園のトイレを水洗化または無臭トイレに改修出来ないか。

答 令和4年度に中村公園の前の道路の下水道整備が行われる計画であり、下水道が完了した翌年度(令和5年度)に水洗化工事と共にトイレの改修計画を進める予定。

問 かなん桜プロジェクト推進会議助成金103万円の財源は、ふるさと納税を充当しているが

財源的に問題ないか。

答 ふるさと納税は8つほどメニューがあり、環境的な取り組みのエコ事業、芸術的な取り組みのアートギャラリー事業、その他教育、いきいきしたまちづくりなどで、桜まつりは、いきいきしたまちづくりに関する事業に該当する。

●土木費

4億4688万円
前年度予算比
増7460万円

問 集落内の道路改修事業に関し、町の舗装修繕計画が平成26年作成されたが、計画どおり進んでいるのか。

答 財源との関係上、若干遅れている。計画を立てた以上は、財源を引っ張ってきてきちんと修繕していくことが重要と考える。

●消防費

2億5270万円
前年度予算比
増23万円

問 常備消防費2億2131万円の内訳詳細は。

答 平成26年10月から富田林消防本部に委託している負担金で、救急隊、火災時の出動、その他常備消防にかかる費用。

問 自主防災組織に関しては、各地区で活動の仕方など温度差があるように感じるが、レベルアップを図れるような手立ては出来ないのか。

答 各地区自主防災組織の横のつながりなどを考え、検討していきたい。

●教育費

6億3098万円
前年度予算比
増3341万円

問 学校給食に関し、アレルギー対応が必要な子どもの数は。また、対応は出来ているのか。

答 アレルギー対応している子どもは現在14人。また、アレルギー対応については、玉子、乳、小麦、大豆、ゴマの5品目である。

問 スクールバス運行委託料5621万4千円は、かなりの金額であり、朝夕の運行以外に有効活用するものはないか。

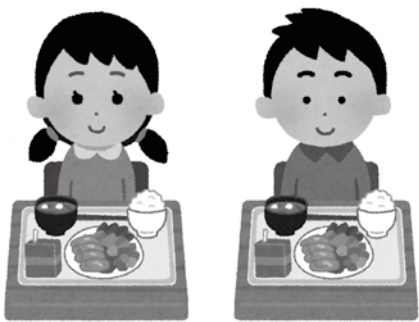
答 現契約における登下校以外の活用としては学校の遠足、校外学習が考えられる。

問 クラブ活動などで、先生に大きな負担が掛かっているが対応策は。

答 働き方改革の中で、週1回クラブのない日、土・日曜日については片方休む。1日だけ4時間以内で終わる。平日についても2時間を限度といった形で改善を進めている。

問 コロナ禍の中、図書の実

答 財政的に厳しいところであり、ウェブからインターネットを使った利用を進めて行きたい。



特別会計

総額44億4,689万円

審議&討論

ようにお願いをしている。審査会の回数を増やす議論もあるが、富田林医師会の特徴として1市2町1村で構成されているので、増やすことになる、負担が出てくる。

問 後見人の費用助成の内容は。
答 後見人は社会福祉士などが任命されるが、生活困窮などで後見人の報酬が払えない場合、町が代わって支払っている。

下水道事業

問 人口減に伴い、下水道の利用者も減ってくる。結果、利用料が減ってくる想定するが、計画などの見直しは行うのか。
答 収支計画の見直しの検討は初めている。長寿命計画は終わり、ストックマネジメント計画を立てているが、事業費もかさむので、経営計画の見直しをしていく。

問 介護認定は、1回で何人認定するのか。
答 町の枠は、おおむね20人。
問 介護認定はもう少しスピードアップ出来ないのか。
答 認定するには、医師の意見書の提出が必要となるため、医療機関に早く提出してもらえない

国民健康保険

反対

被保険者の保険料負担軽減を求める。

国民健康保険制度は、令和6年度に府内統一事業化されるが、被保険者の生活実態を考慮し、一般会計からの繰入れの復活など、町独自の保険料軽減の制度改善を行うべき。

(力武議員)

賛成

今回の保険料の改正案は、被保険者間の受益と負担の公平性を確保するため統一されたものと理解している。

低所得者への軽減措置も図られており、現コロナ禍において、更に国民皆保険制度を維持する事が重要であり、住民の健康と命を守る上でも、この予算案が妥当と判断する。

(大門議員)

後期高齢者医療

反対

被保険者の声や各自自治体議会の意見を聞くべき。

国はコロナ禍の中、高齢者の医療費窓口負担を2割にしようとしている。それらに対する議論が保障されておらず、民主的手続きからも逸脱している。

(力武議員)

賛成

高齢者の医療費に対しては、広域化による財政運営基礎の強化が図られ、安定的な制度の運営継続がされている。

今後、広域連合との連携を図り、持続可能な安心出来る医療制度の構築に期待する。

(大門議員)

介護保険

反対

介護保険制度の、抜本的改善を求める。

介護保険料4・7%の引き上げは、経済成長率の見直しを超えるものであり、更に限界所得層への配慮も不可欠である。要介護4または5の場合は、本人だけでなく、家族にも大きな負担となっている。

(力武議員)

賛成

今回の保険料の値上げの原因は高齢化率の上昇と保険サービスの使われ方の結果である。

それに対し、第8期の介護保険では百歳体操など介護予防にも注力されており、総合事業にも期待している。

(河合議員)

賛成多数で決

介護保険条例改正

保険料区分は12段階から15段階へ細分化



討論 私はこう主張する

●反対(力武議員)

保険料は標準の5段階で4.7%の引き上げとなる。個人所得が落ち込んでおり、高齢者の年金も引き下げられていることから納得できない。限界所得層への配慮が不十分だ。区分層への工夫を求める。

○賛成(大門議員)

負担いただく保険料は、高齢者が安心して過ごすために担保となるものだ。介護サービス基盤の質・量両面にわたる整備を進め、高齢者福祉の拡充、介護保険財政の健全化、持続性の確保を図ってほしい。

●反対(佐々木議員)

コロナが始まって、生活に厳しさが増している。若年層も希望が持てない社会となっている中で、値上がりは容認できない。住民の声を代弁するのが議員の役割なので、この議案には反対する。

○賛成(河合議員)

認定者が増えると、介護サービスの費用は増大する。認定者が増えるのは仕方がないが、大切なのは、認定者が介護サービスを適正に利用しているかを見ていくことで、最小限の上げ幅になるよう努力してほしい。

問 介護給付費をどのようにして抑えていくのか。

答 要介護状態にならないために介護予防事業を進めていく。また、健康教室などを行い、給付費を抑える努力をする。

問 保険料改正の理由は。

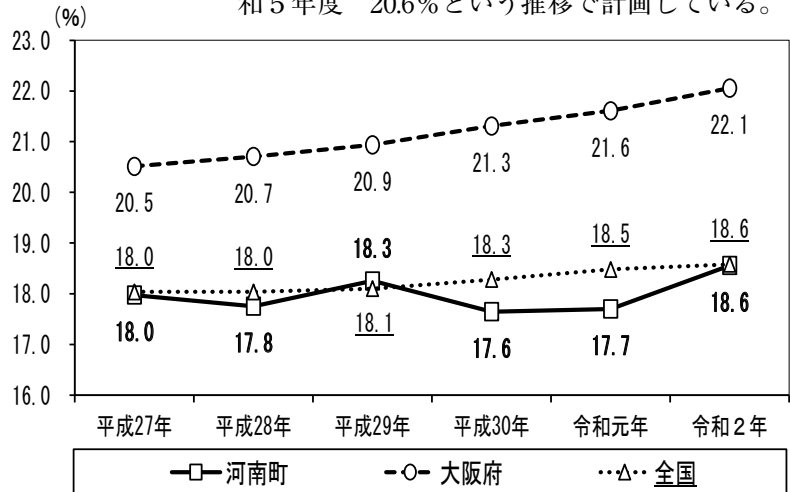
答 令和3年度から令和5年度までの保険料を決定するため。府と調整を行い、高齢者保健福祉計画等策定推進委員会で審議の上、承認された。

問 低所得者に対する保険料の軽減で、消費税の財源はどう使われたのか。

答 社会保障制度改革の一つとして、低所得者対策強化の観点で踏まえ、消費税による公費を投入し、保険料の軽減強化を実施している。保険料区分、第1段階から第3段階については、保険料率0.5から0.3、0.7から0.5、0.75から0.7に引き下げている。保険料確定するにあたり、基金も取り崩して保険料の算定に充当している。

問 第1号被保険者における要介護認定者の割合は、今後どのように推移していくのか。

答 令和3年度は19.5% 令和4年度20.3% 令和5年度 20.6%という推移で計画している。



●第1号被保険者における要支援・要介護認定率の推移 (第8期河内町高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画より)

新課設置で
新部門が発足

①教・育部

・生涯まなぶ課

社会教育や文化、スポーツなど生涯学習を一体的に取り組み生涯豊かな人生を送ることが出来るように、生涯を通して学ぶことが出来る環境整備。

スポーツ施設の予約などの業務が、健康づくり推進課から生涯まなぶ課へ移りました。

②まち創造部

以前は、環境まちづくり推進課、地域整備課、上下水道課で構成されていましたが、上下水道が大阪広域水道企業団へ移管したことで再構成されました。

・農林商工観光課

日本遺産の登録などを受けて観光事業の強化を図る。

・都市環境課

下水道とまちづくりが合体。空き家対策などのまちづくりと、下水道事業の健全化を図る。

多数決で賛成可

し尿処理手数料 14年ぶりに料金改定

(業務委託料値上げに伴う)



し尿くみ取り件数が減っている中で、行政と住民の費用負担のバランスはどうあるべきか？
使用料の適正化とは？ 料金改正の課題を巡ってさまざまな議論が交わされました。

※し尿くみ取りは、業務を遂行出来る施設、人員、財政的基礎を有し、相当の経験を有している」と認められる業者と、随意契約を締結している。

便槽の種類ごとに額を定め、改定後の手数料は、令和3年6月から施行。

普通トイレは、1人月額500円を530円に。

なぜこの時期に値上げなのか。

問

平成19年から値上げを据え置いていることから、応分の負担をお願いしたい。下水道事業や合併浄化槽などの受益者負担も勘案し、受益者負担の公平性を心掛ける。

問

入札しないで随意契約する理由は。

答

業務の適正な履行を再優先している。競争入札をしたとしても、収集運搬する内容や目的に照らし合わせても、目的を円滑に履行出来るかは、必ずしも確実ではない。



○原案に賛成(河合議員)
し尿くみ取りの件数が減ってくる中で、行政と住民の費用負担のバランスを適切に図ることが必要だ。コロナの状況に対してのコロナ対策は、別々に考えて対策を立てるべき。

○原案に反対(中川議員)
コロナ禍の中で、議決時期については住民の目線にたち、先延ばしをするなど、配慮しながら工夫する姿勢を示すべきという提案が、一切通らなかつたので反対する。

○原案に賛成(大門議員)
長年、料金改定を控えてきたことや、府内の他の自治体と比べても、決して高額といえる金額負担ではない。過度の負担とならないように、金額と時期の設定がなされている。

○原案に反対(力武議員)
少数者に対する心配り、ぬくもりのない提案だ。財政に対する影響からして微々たるものなら、執行時期は延期すべき。

修正動機を提出
(提案者：佐々木議員・廣合議員)
▽内容：附則の改定時期を修正
令和3年6月1日を令和4年6月1日に改め、1年間先送りするもの。

問 1年後の見通しが立ちにくい中で、なぜ1年延期なのか。
答 半年後では、状態が悪化したとき、また修正が必要なので、余裕を持たせて1年とした。

○討論：なし
○賛成少数：否決

人事案件に同意

副町長の選任について
しろた 城田 くにあき 国昭さん
(河南町在住)

固定資産評価審査委員会委員の選任について
まつい 松井 ひさお 壽雄さん(再任)
(河南町在住)

教育委員会委員の任命について
たかい 高井 みえこ 美恵子さん
(太子町在住)

新型コロナウイルス対策事業 全員賛成で可決

いっしょに考えよう 新型コロナウイルス関連予算

ワクチン接種体制確保へ！

どんなことに使われるの？

財源は、地方創生臨時交付金など1億8,386万円および、財政調整基金1,131万円を取り崩し、繰り入れ。

- かなちゃんバスキャッシュレス決済導入事業(1,814千円)
- 議事録作成システム導入事業(1,561千円)
※AI音声認識での議事録作成。
- WEB会議システム導入事業(497千円)
※WEB会議対応カメラを設置。
- 庁舎トイレ改修事業(21,000千円)
※庁舎トイレを多目的に。
- 新型コロナ生活支援事業(500千円)
※生理用品を、小・中学校に配布。
- 新生児育児応援事業(8,207千円)
- 新型コロナウイルス対策事業【こども園】(1,000千円)
※消毒液などの購入。
- 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業(29,287千円)
- 新型コロナウイルスワクチン接種対策事業(49,444千円)
- 地域通貨推進事業(61,985千円)
- 経営継続化支援事業(6,000千円)
※令和3年1月から3月までの売上減少者。
対象は、事業者中小法人・個人事業者
一時支援金5万円支給。
- 新型コロナウイルス対策事業【災害対策】(1,571千円)
※感染症予防消毒用薬剤などの購入。
- 防災バック配布事業(2,442千円)
- 新型コロナウイルス対策事業【小学校】(5,886千円)
- 新型コロナウイルス対策事業【中学校】(3,807千円)
- 新型コロナウイルス対策事業【公民館など】(169千円)

※感染症予防のためのトイレ清掃委託料。



かなちゃんバスに設置。スマホなどで支払い可能。かざすだけで決済。



新生児世帯を応援
10万円相当を支援



すばるホール

接種は、富田林市にあるすばるホールと、PL(パーフェクトリバティ)教団の錬成会館。送迎バスの運行委託料や集団接種会場の運営経費など

富田林医師会協力のもと、富田林市・太子町・河南町・千早赤阪村と共同でのワクチン接種



年齢区分を設けない！全住民への支援として地域通貨3,000円を配布

防災バックを追加配布



審議結果など

● 3月定例会議

各議員の表決 ○=賛成、●=反対、―=議長、欠=欠席		審議結果	高田	松本	河合	大門	力武	佐々木	廣谷	福田	浅岡	中川
件名			伸也	四郎	英紀	晶子	清	希絵	武	太郎	正広	博
河南町新型コロナウイルス感染症対策基金条例の制定について		原案可決	○	○	○	○	○	●	○	○	―	○
河南町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について		原案可決	○	○	○	○	●	●	●	○	―	○
大阪広域水道企業団への水道事業統合に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について		原案可決	○	○	○	○	○	●	○	○	―	○
河南町廃棄物の減量化及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例の制定について		原案可決	○	○	○	○	●	●	●	○	―	●
令和3年度河南町国民健康保険特別会計予算		原案可決	○	○	○	○	●	○	○	○	―	○
令和3年度河南町後期高齢者医療特別会計予算		原案可決	○	○	○	○	●	○	○	○	―	○
令和3年度河南町介護保険特別会計予算		原案可決	○	○	○	○	●	○	○	○	―	○
河南町議会会議規則の一部を改正する規則の制定について		原案可決	○	○	○	○	○	●	○	○	―	○

全会一致の可決議案・同意議案	
件名	
河南町土地開発基金条例の一部を改正する条例の制定について	河南町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
河南町水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について	令和3年度河南町一般会計予算
令和3年度河南町土地取得特別会計予算	令和3年度河南町下水道事業会計予算
河南町部設置条例の一部を改正する条例の制定について	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条第1項の規定に基づく職務権限の特例に関する条例を廃止する条例の制定について
令和2年度河南町一般会計補正予算(第7号)	令和2年度河南町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)
令和2年度河南町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	令和2年度河南町介護保険特別会計補正予算(第4号)
令和2年度河南町土地取得特別会計補正予算(第1号)	令和2年度河南町水道事業会計補正予算(第2号)
令和2年度河南町下水道事業会計補正予算(第2号)	副町長の選任について
固定資産評価審査委員会委員の選任について	教育委員会委員の任命について

● 3月臨時会議

全会一致の可決議案・同意議案	
件名	
令和3年度河南町一般会計補正予算(第1号)	令和3年度河南町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

議会改革特別委員会がスタート

議会は、住民自治を担う主役であり、その役割はますます重要になっています。議会在、その活動をより充実させ、住民の負託に応えていくため、議会改革特別委員会が設置され、議論が交わされました。

当面の目標は、議会の最高規範といえる「議会基本条例」の制定に向け議論を進めていくとともに、単に条文の制定にならない実効性のあるものとするため、2つの小委員会を作り、取り組んでいます。

4月14日 全員協議会開催

全員協議会では、休止されていた山城バイパスの事業再開や下水道事業の今後の推移など、重要な案件に対しての説明がありました。

○河南町国土強靱化地域計画

国土強靱化基本法の趣旨を踏まえ、過去の災害の教訓から、大規模災害が発生しても「致命的な被害を負わない強さ」と「速やかに回復するしなやかさ」を持った「強靱な地域」を作り上げるための取り組みをまとめ推進していく。

計画期間：令和3年度～令和7年度の5年間

基本目標

1. 人命の保護が最大限図られる
 2. 社会の重要な機能が致命的な被害を受けず維持される
 3. 住民の財産および公共施設に係る被害の最小化
 4. 迅速な復旧・復興
- 災害ハザードマップ
1. 安全・安心に住めるまちづくり

くり

2. 土砂災害から身をまもる
3. 風水害から身をまもる
4. 避難の心得
5. 住んでいる地域の地理条件と周辺施設、避難経路・避難所を確認する

○河南町第6期障がい福祉計画

・第2期障がい児福祉計画

基本理念

障がいのある人が、自己決定に基づいて、その人らしく生活できるまち、障がいのある人とない人が互いに理解し合い、支え合って絆を深め、共に生きるまち。

計画期間：令和3年度～令和5年度の3年間

○都市計画マスタープラン

上位計画である「河南町まちづくり計画」に即した都市整備を進める。

自然と歴史と共に生きる「あなば」なまち、「あそびがある」「なじみやすい」「はぐくめる」昔からある自然と、受け継がれた歴史と共に生活を送っていくことができる、元気で活力あるまちとして発展し続けることを目指す。

まちづくりの目標

- ・安全で安心して暮らせるまち
- ・都市基盤施設が整備されたまち
- ・活力ある産業基盤が整備されたまち
- ・参画と協働をすすめるまち

計画期間：令和3年度～令和12年度の10年間

町長は、「この計画により住民の皆さんとの協働のもと、創意と工夫を凝らしたまちづくりを進めていきたい」と説明。

○大阪府都市整備中期計画

府道柏原駒ヶ谷千早赤阪線（山城バイパス）事業休止から再開へ。

《山城バイパス計画(案)》



○河南町下水道事業経営戦略

人口減少と人口低密度化、下水道資産の更新時期の到来など

により経営基盤の強化と財政マネジメントの向上を図るために

策定。

令和元年度末人口普及率94.0%、水洗化率95.0%、総事業費96億円超え。
起債の現債高約32億8700万円(元利償還金は、ほとんどを一般会計から繰り入れ)
下水道使用者負担による自立経営が困難。
使用料収入の見直しは、供用区域人口の減少や有収水量の減少などで令和元年度実績から約15%減少の見通し。

「へ～、知らなかった！議会のお仕事」 シリーズ議会④

～全員協議会って何？～

全員協議会は、定例会議や臨時会議などの本会議とは別開かれる自治法上で定められた法定会議です。全員協議会では、次のようなことを行います。

- ・議会自体の行事や運営・活動についての協議をしたり、意見調整を行う。
- ・本会議の審議の過程で、議員相互の意見を調整したり、また、執行機関(町側)との意見の調整を行う。

・執行機関から提案予定の案件について事前説明を受けたり、行財政運営上の重要問題について意見を行う。
全員協議会は、審議を行う本会議や委員会と違い、あくまでも複雑な内容の案件などについて、あらかじめ説明を受ける調整の場なので、審議をすることがないようにはなりません。





松本 四郎 議員

問 市街化調整区域での産業振興は

答 地区計画運用基準の見直しを検討

問 ワクチン接種の整備状況と実施見通しは。

答 富田林医師会の協力を得て4市町村で集団接種を予定。場所はPL錬成会館、すばるホールの2か所。65歳以上の高齢者は国からのワクチン供給量の関係で6月末までに接種の予定。

新型コロナウイルス感染症関連

問 市街化調整区域での土地活用による産業振興施策は。

産業の振興と活力ある土地利用

答 「幹線道路沿道地域」において、商業系用途に加えて工業系を含めた企

業誘致が可能となるよう、町の都市計画マスタープランと整合を図りつつ「市街化調整区域における地区計画運用基準」の見直しを検討している。

町の将来を担う子どもたちの教育

問 文科省が推進するGIGAスクール構想。町の体制整備状況と取り組み方針は。



▲GIGAスクール構想。町の体制整備状況と取り組み方針は。

IGAスクール構想（生徒一人1台端末による教育環境）に関し、町の体制整備状況と取り組み方針について。

答 端末1170台は納入完了。通信ネットワークの環境整備を進めており予定どおり完了する見込み。今後、教職員の研

修を行い、令和3年度は、端末操作に慣れることなど教育現場で効果的に活用していくことを目標に進める。

問 国際化の進む中、子どもたちが健やかに成長する国際語（英語）学習への取り組みについて。

答 外国語を身近に感じ異文化への理解を深める機会の提供を目的に英語圏の3人のALT外国語指導員助手を各小・中学校に1人配置している。ほかの取り組みとして、イングリッシュ・キャンプ事業や海外生活を通して異文化体験を通じた人材育成のため中学生海外学習事業を実施している。

持続可能な農林業などの推進に向け

問 耕作放棄地の活性化とその取り組みは。

答 農地中間管理機構を活用した新たな担い手や企業参入などの確保を行い、生産性の向上と耕作放棄地問題への取り組みを進めている。



▲イノシシの被害防止と捕獲・駆除協力者への報奨金制度は。

喚起は。

答 捕獲・駆除協力者への報奨金制度は、国の「鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業」があり、富田

林市と河内長野市が実施している。町では、この事業を活用していないが、今後研究する。電気柵の安全性については、電気事業法で定められた適切な措置を講じることで安全が確保される。また、町ホームページなどで電気柵の正しい設置方法を周知している。

問 イノシシの被害防止と捕獲・駆除協力者への報奨金制度の実施は。また、農作物被害防止用の「電気柵」の安全性と注意

このページは、質問した議員の責任において作成したものです。



河合 英紀
議員

問 山城バイパス延伸の今日までの流れは？

答 平成20年6月から事業休止になっている

山城バイパス 延伸の経緯

正式な路線名は、

主要地方道柏原駒ヶ谷千早赤阪線。

計画当初から今日に至るまでの流れは、

昭和62年に寺田北交差点から大宝交差点までの区間(山城バイパス)の供用が開始。その後、太



▲大阪芸術大学敷地内のボックスカルバート附近。

子南交差点付近での渋滞が発生していることから平成4年に河南町と太子町で山城バイパス延伸の要望を提出。平成9年大阪芸術大学敷地内でのボックスカルバートの工事を実施。河南町内での用地買収。太子町での用地測量を実施。平成13年に大阪府都市基盤整備中期計画(案)において、山城

バイパスが整備事業と位置付けられる。平成20年の大阪府財政再建プログラムにおいて一時休止。それ以降、大阪府都市整備中期計画事業は、中止となっている。

ボックスカルバートの幅と用地買収した部分の幅において、大宝入り口部分は狭くないのか。

ボックスカルバートの幅は当時の計画に基づき造られている。大宝入り口部分の幅とおおむね同等の幅である。今後の整備については、新たな基準に基づき計画される。

地域包括ケアシステムについて

地域包括ケアシステムの具体的な取り組みは、

地域ケア会議の立ち上げ、富田林医師会をはじめとする三師会と医療・介護の連携強化、百歳体操の普及啓発。生活支援コーディネーターや認知症地域支援員の設置。

▲山城バイパスの延伸を視察。



社会資源活用についての方向性は、

百歳体操へのフォローアップや住民主体による支援の訪問型サービスBの普及、社会資源マップの作成に取り組む。

住民からの介護の窓口相談に対する対応は統一されているのか。

職員が保険者機能強化の共通認識を持ち、誰もが一定の対応が出来ることが望ましい。職員間の情報共有を図り、対応

のマニュアル化なども研究していく。

地域ケア会議の今までの成果と課題は、

成果として、移動支援である訪問型サービスDの創設。専門職による短期集中で自立させる訪問型サービスCの創設。課題として、閉じこもりを予防する専門職による短期集中での通所型サービスCの創設。住民主体の訪問型サービスBを検討していく。



力武 清 議員

問 町独自のPCR検査を

答 医療機関との調整し研究

問 PCR検査センター

などは何か所あるのか。

答 府内保健所が設置し、18か所ある。

問 診療・検査医療機関は何か所あるのか。

答 富田林保健所管内では63か所になっている。公表はされていない。

問 PCR検査の意義は。

答 必要な人に必要なときに実施することでその効果を上げる。

問 必要な人が必要ときに検査を受け入れずべき。

答 府の事業が整備されているので、町独自の

実施は必要ではない。

コロナ対策のワクチン接種

問 事前にワクチン接種の相談窓口の設置は。

答 4月に設置。

問 移動困難者や施設入居に対する対応は。

答 送迎に配慮した検討している、施設入所者は、施設内での接種を検討。

問 妊婦の方に対する説明は。

答 主治医の先生に相談してもらおう。

少人数学級について

問 コロナ禍の中で、学級編成のあり方として三密を避けることが大事で

ある。小学校での少人数

学級が必要不可欠である。見解は。

答 令和3年度は全ての学年で35人学級となる。

問 中学校での学級編成は。

答 国に35人学級に取り組まれるよう要望する。

学校給食のあり方

問 食材の町内産の利用と割合は。

答 野菜・果物で22品目、年間約9・2tを使用。割合は34%。

問 残菜はどのくらい出ているか。

答 年間で約13・5t。

問 米の使用量が減っている。米粉パンにして利

用を。

答 難しい。

問 提供されているパンの小麦粉の安全性は。

答 年1回グリホサートを含んだ残留農薬の検査を実施し、安全基準の検証した小麦を使用している。

問 給食費の半額補助の対象を、弁当持参の子にも適用するように。

答 アレルギー対応により弁当持参をしている場合も同様に検討する。

エスディグスの取り組みについて

問 持続可能な開発目標という国連で検討されている「SDGs」の認識と位置付けは。

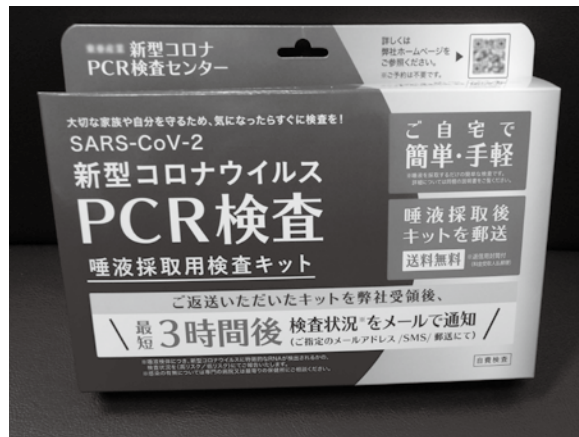
答 17の目標を新しい街づくり計画に取り入れ進めていく。

問 給食費無償化に向けての取り組みは。

答 もう少し時間をいただきたい。



▲給食費の無償化を。



▲必要な人に、必要なPCR検査を。



佐々木希絵 議員

問 人材バンクを創設しては 答 町に合うよう検討する

問 住民の豊富な知見を活かして協働のまちづくりを進めるために、人材バンクを創設しては。災害ボランティア、各種審議会や委員会、児童や学生による公園デザイン、いろいろな分野の当事者に登録してもらって声を聴くなど、行政運営に携わってもらうほか、自治体にあるアーティスト



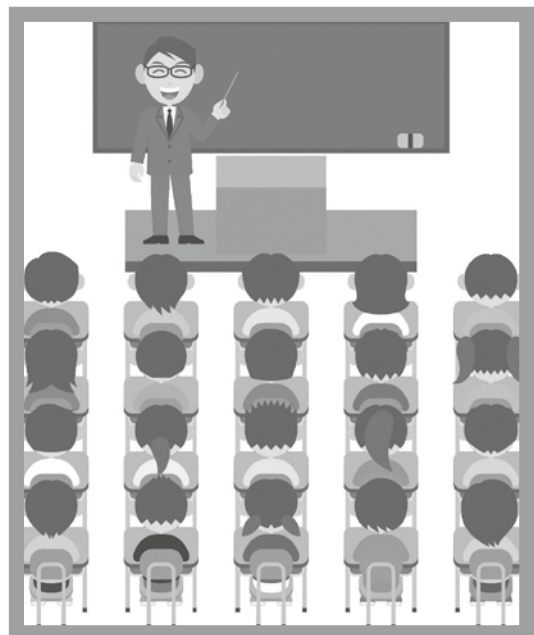
▲アーティストバンクのような人材バンクの創設を。(写真は、堺市のアーティストバンク。)

バンクのように、住民同士でのつながりも作れるのでは。
答 専門分野に長けた住民、ボランティアに登録したい住民がいる。他市の事例を研究しながら、町に見合うよう検討する。

町のICT化をすすめるのか
一般家庭にスマート

スピーカーが常備されるなど、急速に時代が変化している。町のICT化はどう取り組むのか。
答 税の電子申告、図書や体育施設の予約、マイナンバーカードを用いた各種証明書のコンビニ交付などは実現している。これからは、オンライン申請手続きや電子決済などを取り入れて、窓口業務のデジタル化に取り組む。

問 住民の利便性を上げるために、タブレット端末を全戸配備するなど、脱回覧板、脱広報紙配布、脱来庁を目指せるのでは。
答 タブレット配備は研究段階だが、AIを活用して窓口業務の多言語化、道路補修などの施設管理、住民向けチャットボット導入、データ活用で政策立案、介護や健康分野でのAI判断の活用など、無限の可能性に期待している。



◀少人数学級で、教員の確保と施設のキャパシティは十分か。

少人数学級に向けての課題は

問 2025年までに実現予定の少人数学級に伴う課題(教員の質と量の確保、施設のキャパシティなど)への認識は。

答 大阪府教育委員会と連携して適正配置に努める。国では教員資格の規制緩和の動きもあり、注視している。施設のキャパシティは35人学級に十分に対応できる。

問 現段階で、既に教員

を適正に配備できない状況があり、府教委との連携だけでは不十分では。
答 過去にそういう事例もあった。例外的な措置であったと考えている。

問 国は外部人材の活用も考えているが、これまでに民間校長などの取り組みは失敗している。教員としてではなく、部活動の指導員として協力してもらい、教員の負担軽減に取り組んでは。
答 現場と調整を図りながら検証する。

がら検証する。



廣谷 武 議員

問 ワクチン接種場所

答 すばるホール・P L 練成会館で

行って作業してもポイント
は貯まる。

**新型コロナウイルス
ワクチン接種**

問 ワクチン接種に関する計画は。

答 4市町村集団接種を
実施する。高齢者分は、
6月末を目標供給する。
実施の場所は、富田林市
のすばるホールとP L教
団の練成会館の2か所
で行う。移動手段として無
料バスで送迎することも

視野に入れ計画している。
相談窓口として4月にコ
ールセンターなどの開設
も予定している。

**ワクチン接種後、
町のイベント**

問 今年は町政65周年。
だんじりパレードなど町
の主催のイベントはどう
するのか。

答 住民の皆さんが新し
い生活様式の環境に対応
していると判断したとき、
事業の実施を検討する。

**観光課が設置された。
新たな取り組みは**

問 葛城山、岩橋山、日
本遺産の平石峠など、町
の観光資源の整備は。

答 岩橋山の登山道は、
ネザサ刈りと登山道の補
修を行っている。駐車場・
公衆トイレの設置につい
ては、地元区長と担当部
で協議している。

**学級編成の標準が
35人に引き下げられた**

問 法律で35人学級が定
められた。先生の確保や
教室の確保など大丈夫な
のか。

答 町では、2校とも教
室数に余裕があり大丈夫。
先生も定員を満たしてい



▲視力を守るためパソコンなどの画面に
ブルーライトカットフィルムを。

**パソコンなどの使用で
「児童・生徒の近視が
急激に増えている**

問 G I G A スクール構
想事業の進捗状況は。

答 児童・生徒に一人1
台端末1170台につい
ては、2月に既に納入が
完了。現在は学校内の通
信ネットワークの整備工
事を行っている。

問 視力を守るため、パ
ソコンなどの画面にブル
ーライトカットフィルム
を貼ったり出来ないか。
また、対策は。

答 健康マイレージ、田ん
ぼに行つてポイントが
貯まる

**健康マイレージ、田ん
ぼに行つてポイントが
貯まる**

問 教室の照度、パソコ
ンを操作する姿勢など先
生が個々に応じてしっか
りと指導していく。また
カットフィルムなど学校
現場と検討する。

問 健康マイレージに参
加して、役場まで歩いて
きたり田んぼに行つたり
してポイントを貯めて景
品をもらえないか。

答 町主催の対象事業の
いずれか一つに必ず参加
し、そして自分で健康に
関する目標を決め、実施
した日付けを記録し一日
1ポイントとして自己申
告でもらえる。田んぼに



▲新型コロナウイルスワクチン接種に関する計画は。
(写真は、実施の場所のP L 教団の練成会館。)



福田 太郎 議員

問 今後の町人口増事業について

答 来てよし、住んでよしを目指す



▲土地埋め立ての監視体制の強化について、どのように取り組むのか。

問 我がまちの若い世帯主への定住促進策や町外の若い世帯主も河南町に移住をしてくるような子どもを産みやすい、育てやすいまちとも言える町独自策の取り組みは。

答 来てよし、住んでよしの「あ・な・ば」かんを目標し、より有効な施策の展開を検討し、進めていきたい。

問 町職員の、町内への居住促進に向けての取り組みについての考えは。

答 一般職の町内への居住促進ですが、広く人材を確保する観点から住所要件は設けていない。

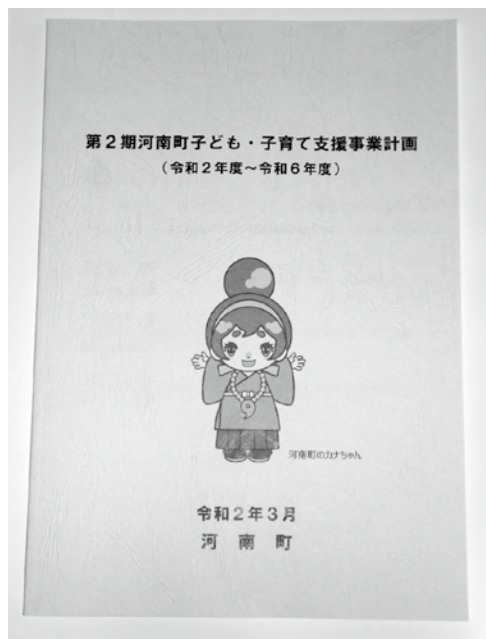
町景観環境事業
ごおつ

問 町内産業廃棄物などの中間処理作業の監視への強化体制について、上山城付近で産業廃棄物とも言える、残土が土砂か分からないが、中間処理を今でもされている。また、寛弘寺出屋敷内で、さまざまな発泡スチロールの容器や雑誌、新聞、空き缶など山積みされ、中間処理作業をされており、各処理作業所への監視体制の取り組みは。

答 現場を確認し、大阪府産業廃棄物指導課と情報共有の上、適切な対応に努める。

問 町内産業廃棄物などの中間処理作業の監視への強化体制について、上山城付近で産業廃棄物とも言える、残土が土砂か分からないが、中間処理を今でもされている。また、寛弘寺出屋敷内で、さまざまな発泡スチロールの容器や雑誌、新聞、空き缶など山積みされ、中間処理作業をされており、各処理作業所への監視体制の取り組みは。

答 大阪府土砂埋立て等規制連絡協議会により監視パトロールを実施し、町でも定期的なパトロールを行っていきたい。



◀ 一時的保育サービス事業の助成と利用負担費の取り組みは。

さらなる子育て支援
ごおつ

問 週に、2日か3日だけ働いている保護者のために、一時的保育サービス事業の助成費と利用負担費の取り組みは。

答 一時保育サービス事業として、保護者の傷病、入院などにより緊急的に保育が必要になった場合や生活保護世帯に対しては利用料を免除し、市町

村民税非課税世帯に対しては、利用料の4分の3を減免することとしている。

問 児童虐待防止に際して、我が町での子どもへの虐待防止の取り組み強化については。

答 児童虐待の事案に対しては、町に子ども家庭総合支援センターを設置し、関係機関との連絡を密にして対応している。



中川 博 議員

問 新型コロナウイルスワクチンの効果は

答 発症予防効果は95%との報告

問 新型コロナウイルス

ワクチン接種において接種の義務は。効果は。種類の選択は。副反応は。妊婦や16歳未満の子どもへの接種は。相談体制は。接種券の有効期限などに

ついて問う。

答 予防接種法第6条第1項に基づき接種勧奨の対象になり、努力義務がある。効果については、ファイザー社のワクチンの発症予防効果は95%と

報告されている。選択は受ける時期に供給されるワクチンは、1回、2回

とも同じワクチンになる。副反応は、頭痛や関節の痛み、疲労、寒気、発熱

などがあり、まれにアナフィラキシーがある。妊婦には現時点では懸念が認められていないが、主治医と相談の上、接種を

お願いする。16歳未満の子どもは、データが少なく、今後状況を注視する。相談体制は、国や府

町が内容を区分して設置。接種券の有効期限は、令和4年2月末まで。

問 高齢者などのインフル

エンザワクチンの接種契約をしている富田林医師会管内および大阪狭山

市以外で接種した場合の助成は。

答 事前に役所へ申し出をしてもらい、償還払いが出来るように検討していきたいと考える。

災害対策について

問 以前お願いした段ボールベットや、その他の避難物資などはどうなっているのか。

答 地域防災計画に基づき、簡易トイレ、液体ミルク、毛布など。また、新型コロナウイルス感染症を踏まえ、段ボールベットなども購入し充実を図っている。

問 生活貧困に対応するため生理用品の配布の考

えは。

答 今後、検討します。

ふるさと納税について

問 茨城県境町は、自治体として始めて自動運転バスを公道で走らせたことと。その様なことが出来るのは多くのふるさと納税を集められているからです。町の対応は。

答 境町は、返戻品517品目と多く、その様な

かなん医療アンダー22 助成事業について

問 22歳までは現在償還払いになっているが、18歳までの子ども医療費と同じように現物給付出来ないのか。

答 可能かどうか、今後検討する。



▲防災用備蓄品で、段ボールベットや、その他の避難物資などの備蓄状況は。



高田 伸也 議員

問 国土強靱化地域計画の進捗状況は

答 5か年計画で地域計画の策定を完了予定

防災対策について

問 万一の災害に対応すべく行政と各自主防災組織や団体との連携は、不可欠と思われるが、合同会議などの開催は。

答 大規模災害に備え、各種団体との連携や組織化は重要だと認識している。まず防災機関などの各種団体と話を進めたい。

問 現在の町における防災備蓄品の状況は。

答 災害用簡易トイレ、毛布、アルファ化米、粉ミルク、乳児用おむつな



▲住民・自治会(防災組織)・町(役場)ごとに有効で効率的な防災備蓄が必要。(写真は、非常時持ち出し用防災リュックのセット。)

ど11種類を備蓄しており、感染症対策として、マスクやアルコール消毒液、さらに、小型発電機やブルーシート、土のうなどの資機材も整備している。

問 各自治会では、熱心に防災活動を展開され、防災倉庫などの設置において、費用面・設置の申請面でも苦慮している。何らかの支援は出来ないのか。

答 これまで、自主防災組織による災害物資・資機材の整備に対し、支援を行ってきたが、保管場所の確保は重要な課題で

もあり、自主防災組織からの相談に対しては個別に支援を検討する。

問 今年9月末には、防災無線のデジタル化が完了するが、その効果と、音声を補完する資機材の導入予定はないのか。

答 自動音声装置の導入は費用面で難しいが、各指定避難場所には、個別受信機を設置する予定。

問 災害の発生に備えて、事前に、町内の事業者や住民に、防災サポーター(ボランティア)として登録してもらう案はどうか。

答 防災サポーターの設置については、先進事例などを調査し研究したいと考える。

問 国が予算規模15兆円を投じ、実施される国土強靱化地域計画の町の進捗状況は。

答 現在、令和3年から5か年計画にて、国土強靱化地域計画を策定中であり、3月中に完了予定である。

まちづくり計画について

問 まちづくり計画に関するタウンミーティング。住民からの意見は。

答 タウンミーティングは中止となったが、書面では、交通機関の改善や大型ショッピングセンターなど買い物や食事をする場の誘致や防災に関する意見が多かった。改めて開催を検討したい。

地域公共交通について

問 地域公共交通の利便性を高める方策としてス



▲各自治会では、防災倉庫の設置や補修などを自費で行っている。(写真は、大宝北公園の防災倉庫。)

クールバスを有効活用出来ないか。

答 運営の形態から、かなん桜小学校のスクールバス(7台)であれば可能性はあるが、定期的な運行は難しく、限定的な使用にならざるを得ない。

コロナウイルス関連

問 感染者累計だけでなく、新型コロナウイルスの感染状況の実態を公表すべき。

答 国と府の方針で、患者や家族を特定されないように、累計人数のみの公表となっている。

シリーズ



④7

—その道の達人から学ぶ—

河南町の野菜に

惚れ込んで

薬膳なおかし ねこやなぎ

店主 谷 昌代さん (下河内)



今回は、下河内(旧河内小学校近く)で「薬膳なおかし ねこやなぎ」の店主をされている谷昌代さんを紹介します。

谷さんは、日本漢方養生学協会認定漢方スタイリスト、養生薬膳アドバイザーの資格を持つておられます。薬膳に興味を持たれたのは、雑誌の特集を読んだのがきっかけで、そんな時、体調が悪くされ入院することとなり、入院中に「人に喜んでもらえる仕事があった」という気持ちが強くなった。自分に何ができるのかを自問自答した時、お菓子作りが好きなので、お菓子屋さんになろうと決めたそうです。

当初は大阪市内で開業。住居が富田林であったため、仕入れは「道の駅かなん」が中心で、他の道の駅のものも試されたのですが、「町内産の野菜や果物のおいしさに惚れ込んだ」そうです。そこで出会ったのが「かうち彩園」や「大浦ファーム」の人たち。開業から5年ほど経過したころ、大阪市内での家賃の高さに悩んでいた時「かうち彩園」

や「大浦ファーム」の人たちから、今の店(古民家)を紹介してもらえたそうです。町内で店を開くのに1年ほどかかり、2年前に無事オープン。当時は、経営が厳しい状況であったが、テレビで紹介してもらったことをきっかけに認知度が上昇。コロナの影響もあるが負けずにネット販売を開始。町のふるさと納税の返礼品としても採用してもらっている、笑顔で話されました。

普段から食べるもので体調を整えるという漢方未病も予防できる薬膳ランチを、ぜひ食べてほしいと話されます。日曜日のみの完全予約制で、11時30分から2組、13時から2組。15時からはカフェタイムで営業されています。



▶薬膳ケーキを作る谷さん

今回の表紙

タブレットで会議

3月定例会議から正式にタブレットを使用したの議会がスタートしました。ペーパーレスを目的に導入したことで議会にかかる経費削減が期待できます。

議員全員で、タブレットの講習を受けるなど新しい取り組みに、前向きに努力しています。

タブレットが導入されたことで、町職員からの説明を議員全員が同じ画面を共有しながら聞けるので、非常に分かりやすくなりました。メモを取りたい時も画面に直接メモを取ることもできます。

まだまだ使いこなすには、たくさん課題もありますが、今後の会議がスムーズに行えるよう努めます。

議員表彰

大阪府町村議長の永年在職議会議員表彰(15年の部)で、町議会から、廣谷 武議員と前町議会議員の小山彬夫さんの2人が受賞されました。

定例会議の日程

令和3年6月定例会議を、次の日程(予定)で開催します。

- 6月1日 開会
- 6月15・16日 一般質問
- 6月17日 閉会

皆さん、町政を身近に知れるよい機会ですので、ぜひ傍聴へお越しください。

※日程は、変更になる場合がありますので、問い合わせは議会事務局へ。

編集後記

3月定例会議では、予算審議があり、新年度に向けた町の政策が見えました。4月から副町長も決まり、新しく「生涯まなぶ課と農林商工観光課」が創設され、森田町政も本格始動です。議会としては、予算の執行が正確にされているのかをしっかりと確認していきます。

シリーズの「人」・「議会」も住民の皆さんに少しでも興味をもってもらえるよう取り組んでいます。「シリーズ・人」のインタビューでは、前向きに頑張る人の思いに触れることができ、毎回元気をもらっています。

皆さんにも議会だよりを読んでいただき元気になってもらえよう、広報委員一同頑張ります。